

ふれあいから学ぶ 皆野高等学校ふれあい体験

県立皆野高等学校では、「誠実・勤勉・協力・奉仕」を教育理念に掲げ、地域での奉仕活動や国神小学校・皆野幼稚園の行事への参加に積極的に取り組まれています。

ここでは、地域でのふれあいから生徒自身で学びを生み出す新しい教育のカタチを見ることが出来ます。



大縄跳び対決

風船運びリレー



むかでリレー

国神小学校との交流競技

6月2日(木)に開催された、皆野高校体育祭では国神小学校の児童との交流競技が行われました。これは、地域との交流や世代間の交流を目的として開催されているもので、今年が2回目の開催です。

競技は、「大縄跳び」「風船運びリレー」「むかでリレー」の3種目。小学生と高校生の対抗戦形式で行われ、真剣勝負が繰り広げられました。

皆野高校生徒会長の服部さんは、「高校生は、小学生との対抗戦に向けて練習に身が入っていたし、体育祭全体が盛り上がるので、今後も交流競技を続けていきたい」と話してくれました。

また、国神小学校児童会長、守屋さんは「大縄跳びで高校生が去年よりも手強かったけど、勝つてよかったし、大縄が一番楽しかった。」と感想を聞かせてくれました。

他の児童からも「風船運びリレーが楽しかった」「高校生が優しくしてくれてうれしかった」などの声が聞かれ、交流競技は大変盛り上がり上がっていました。

皆野高校の先生は「高校生が普段見せない顔をしていて、高校生にとっても良い機会だと思う」と話してくれました。

また、国神小学校の先生は、「小学生が高校生になった時、こういった経験があることで、小学生達に優しく接することで、できるので、良い機会だと思う」と話していました。



国神小学校児童会長 守屋さん



皆野高校生徒会長 服部さん